

# 連合群馬2012年県民意識調査

## 集計結果報告書

2012年8月



# 連合群馬 2012年県民意識調査の概要について

## 1. 《調査の実施概要》

### (1) 調査目的

連合群馬では「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」をめざし、「群馬県に住んでいて良かった」と思えるよう、県民の代表として群馬県知事ならびに各市町村長に「政策・制度」を提言させていただいております。

本調査では、県民一人ひとりの考え・要望を幅広い層からアンケートにより把握し、集約・分析する中で、政策的課題の検討、そして「政策・制度」を策定するにあたっての基礎的資料を得ることを目的とし、1990年の結成以来毎年実施しているものです。

今年度は、広く県民ニーズを把握するために組織外の調査数を増やし、女性の割合と非正規労働者からの調査拡大に取り組みました。また、調査項目では雇用・労働問題を最重点項目と位置付けるとともに、昨年の東日本大震災発生を受け、防災関係の調査項目も増やしました。

### (2) 調査の対象

◎ 群馬県内居住者（\*詳細はフェース区分参照）

### (3) 集約数および回収率

連合群馬構成組織内と組織外では組織外を多い割合、男女比を5:5になるように依頼しました。

◎ 集計数；11,747名（組織内5,421名、組織外6,326名）

◎ 配付数；11,615枚（組織内5,000枚、組織外6,615枚）

◎ 回収率；101.1%（組織内108.4%、組織外95.6%）

◎ 男女比率；男性5,890名（50.1%）、女性5,724名（48.7%）

### (4) 調査時期および調査方法

◎ 調査時期；2012年2月15日～5月15日

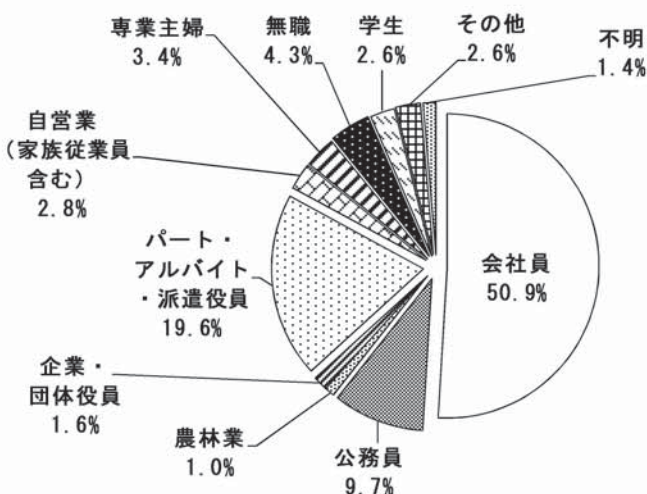
◎ 調査方法；アンケートによる選択回答方式

### (5) 集計にあたって

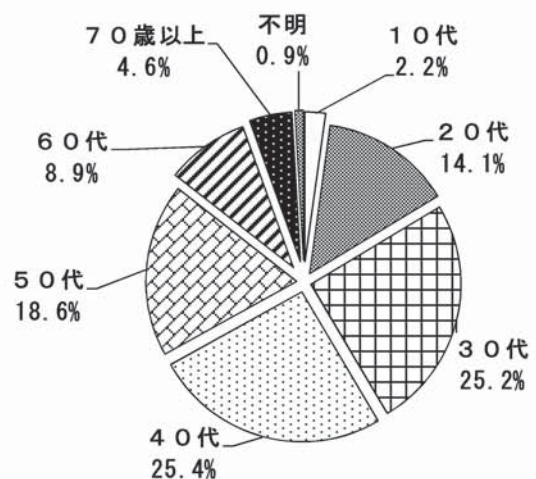
結果の集計にあたっては、連合群馬事務局にて実施しました。

## 2. 《フェース区分》

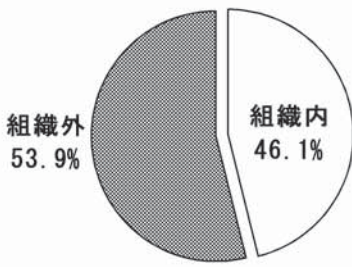
### (1) 職業区分



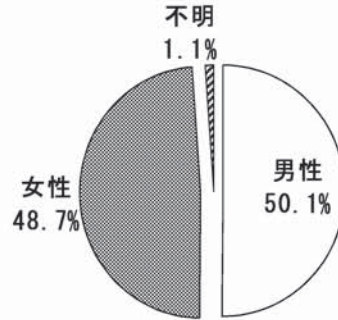
### (2) 年齢区分



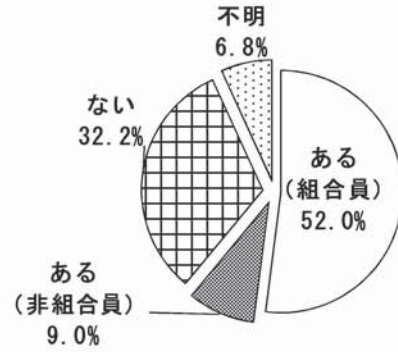
(3) 構成組織内・外比率



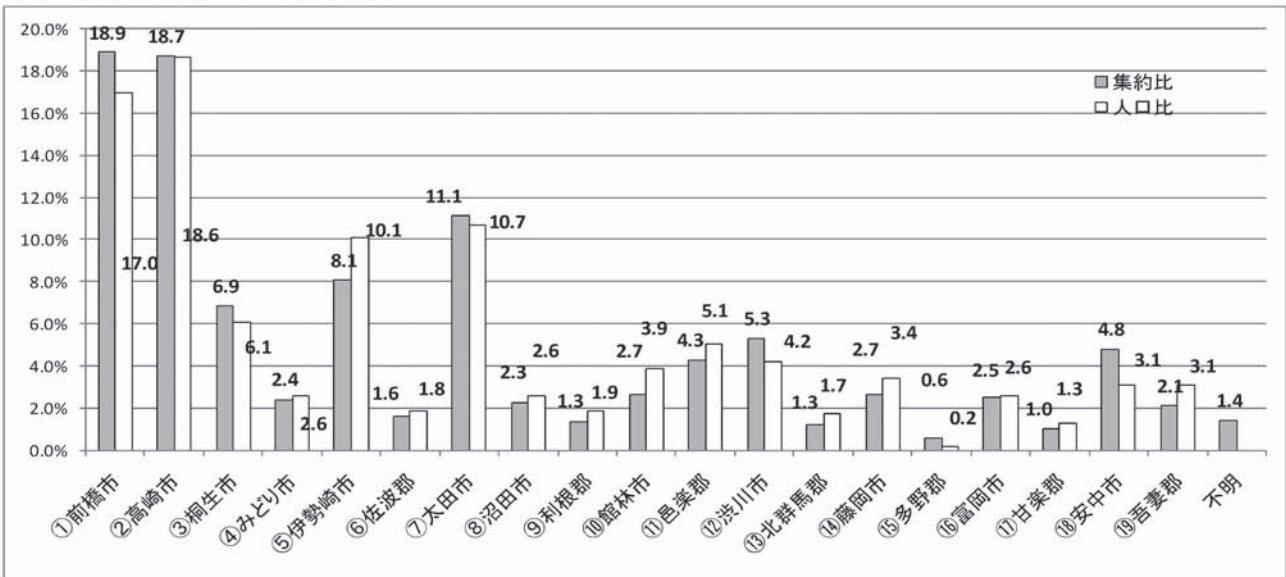
(4) 男女比率



(5) 労働組合有無



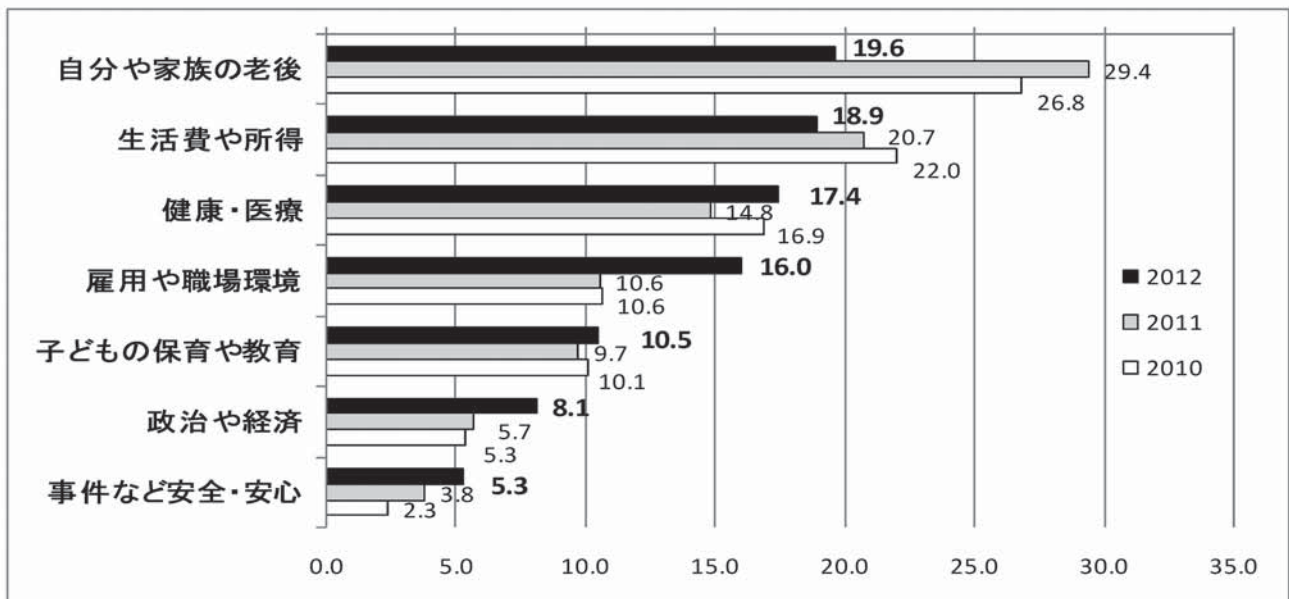
(6) 地域集約数(12市7郡)



### 3. 《調査概要》

#### (1) 心配事・困り事・関心事(2つ選択)\*上位7項目の比較(2010~2012年調査結果)

毎年調査している『心配事・困り事・関心事』は、「自分や家族の老後」が、過去2年と比較すると数値は低くなったものの2003年から連続して高い傾向が続いており、上位7項目の順位は変わっていません。一方で、「雇用や職場環境」、「政治や経済」、「事件など安全・安心」の項目で数値が高くなっています。





### 《生活》

1. 震災後の自分や家族の生活の見直し（1選択）……………1・17  
 ▼問1で「①見直した」を選択した方のみ
2. 見直したこと（複数選択）……………1・17

### 《災害》

3. 群馬県で避難しなければならない災害が起こると思うか（1選択）……………2・18
4. 市町村が指定する、自分や家族が避難する避難場所を知っているか（1選択）……………2・19
5. 災害に対する備えでおこなっていること（複数選択）……………3・19
6. あなたが住んでいる地域での防災訓練に参加しているか（1選択）……………3・20  
 ▼問6で「③あまり参加していない」「④参加していない」を選択した方のみ
7. 一番の理由（1選択）……………4・21
8. 自宅の寝室・階段に火災警報器などを設置しているか（1選択）……………4・21
9. あなたが住んでいる市町村の地域防災計画を知っているか（1選択）……………5・22
10. 災害に備えて行政がおこなうべき施策は何か（2選択）……………5・23
11. 放射能汚染に対して行政がおこなうべき施策は何か（2選択）……………6・24

### 《教育》

12. これから小・中学校教育で充実すべきことは何か（2選択）……………6・25

### 《心配事》

13. あなたの心配事・困り事・関心事は何か（2選択）……………7・26

### 《環境》

14. 環境にやさしい生活のために取り組んでいること（複数選択）……………7・27

### 《農業》

15. 群馬県の農業を守るために行政がおこなうべき施策は何か（2選択）……………8・28

### 《働くこと》

16. 雇用・労働に対する不安はあるか（1選択）……………8・29  
 ▼問16で「①ある」「②どちらかと言えばある」を選択した方のみ
17. 雇用・労働に対する不安はどんなことか（2選択）……………9・29
18. 雇用・労働問題や働くことで困ったときの相談先（家族・友人以外）（2選択）……………9・30
19. 求職者支援として行政がおこなうべき施策は何か（2選択）……………10・31
20. 雇用環境が厳しい中、企業に対して行政がおこなうべき施策は何か（2選択）……………10・32  
 ▼問21は、会社員・公務員・企業団体役員・自営業の方のみ
21. 自身の会社の就業規則を読んだことがあるか（1選択）……………11・33
22. 60歳以降も働く場合どのような働き方を希望するか（1選択）……………11・34
23. 高齢者が安心して働く機会の拡充に向けて行政でおこなうべき施策は何か（2選択）……………12・34
24. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員、臨時職員などに対して、  
 企業などではどのような施策が必要だと思うか（2選択）……………12・35  
 ▼問25・26は、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員、臨時職員の方のみ
25. 現在の働き方を選んだ理由（1選択）……………13・36
26. 正社員・正職員になりたいと思うか（2選択）……………13・37

### 《分析の考え方》

※分析にあたり、全体傾向との比較や性別、年齢、職業、労働組合有無、組織内外、地域区分の比較等において、各項目の平均値に対し概ね10ポイント以上の差異が見られる場合に「高い」「低い」、概ね5～10ポイントの差異が見られる場合に「比較的高い」「比較的低い」としている。

※集計結果における割合（％）の数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している為、内訳と合計が一致しない場合がある。

※「職業」における「自営業」には家族従業員を含む。



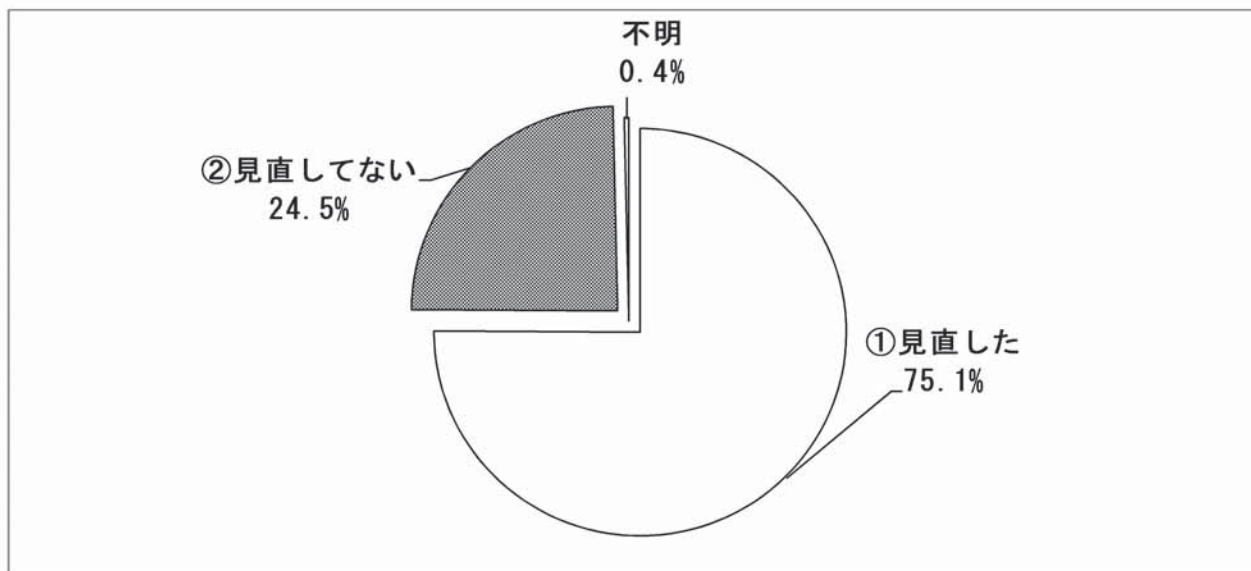
## 《生活》

### 1. 震災後あらためて自分や家族の生活を見直しましたか。

【1つ選択】

#### ■傾向

「①見直した」は各世代7割程度の数値となっており、男女とも同様の傾向である。職業別では「専業主婦」(85.0%)の値が最も高い。

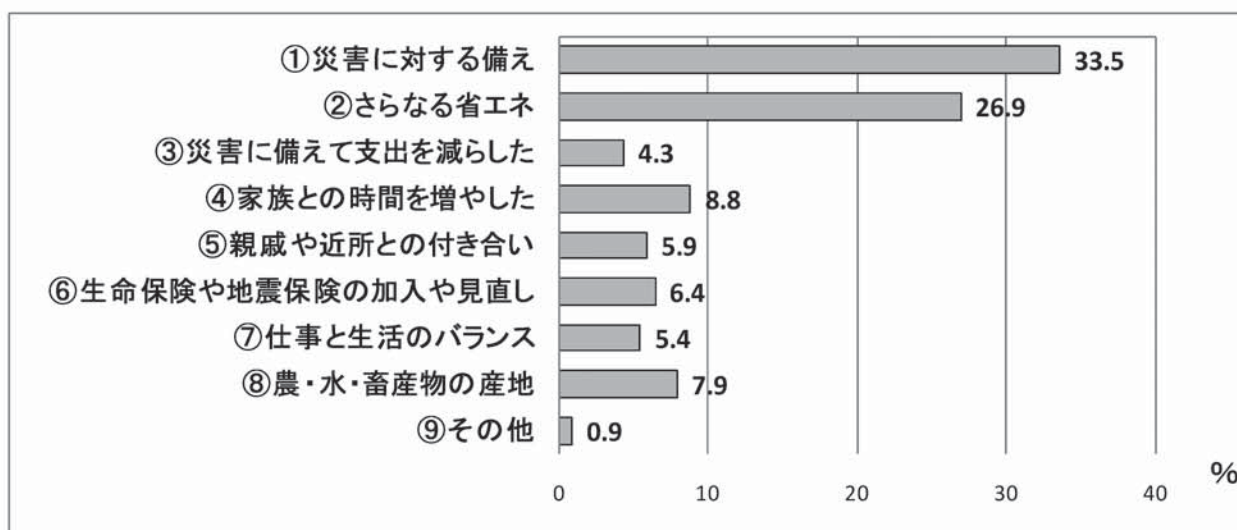


### 2. 見直したことは何ですか。

【問1で「①見直した」を選択した方のみ/複数選択】

#### ■傾向 (問1で「①」を選択した方 8,821名の回答より)

「①災害に対する備え」(33.5%)の値が最も高く、これに「②さらなる省エネ」(26.9%)が続く。年代別では「②さらなる省エネ」は「10代」(32.7%)の値が比較的高く、「⑤親戚や近所との付き合い」は「70歳以上」(14.0%)が比較的高い。



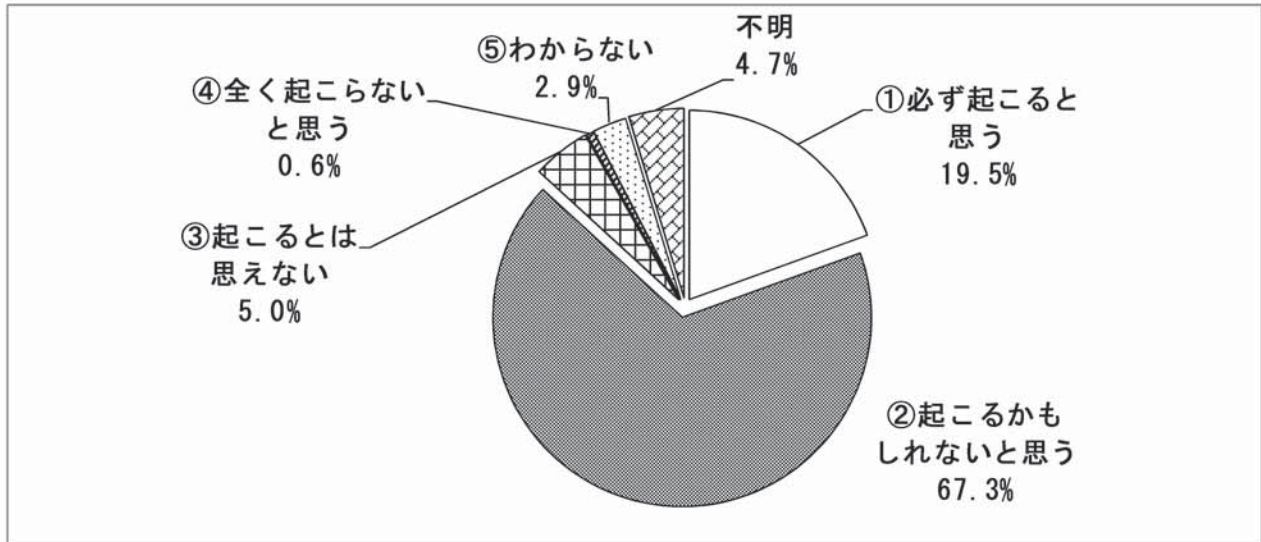


《災害》

3. 群馬県で地震や水害、火山の噴火など避難しなければならない災害が起こると思いますか。 【1つ選択】

■傾向

「②起こるかもしれないと思う」(67.3%)の値が最も高く、これに「①必ず起こると思う」(19.5%)が続く。①②を合わせると86.8%となり、どの世代も8割を超えている。



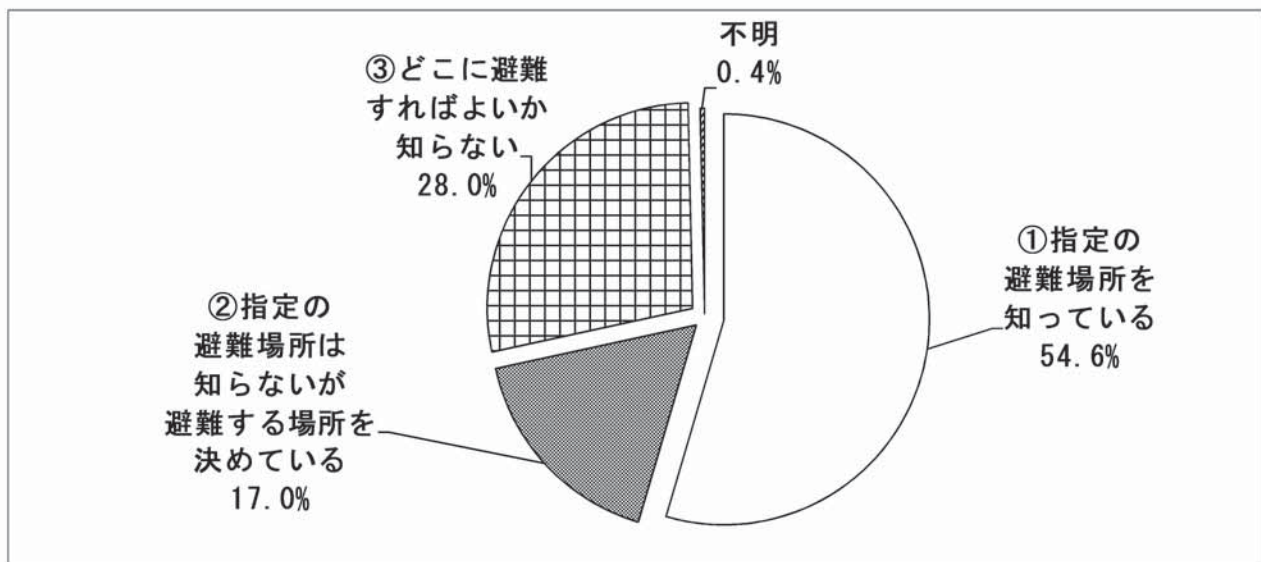
4. 市町村が指定する、自分や家族が避難する避難場所を知っていますか。

【1つ選択】

■傾向

「①指定の避難場所を知っている」(54.6%)の値が最も高く、これに「③どこに避難すればよいか知らない」(28.0%)が続く。

特徴点として、「①指定の避難場所を知っている」は「70歳以上」(63.5%)の値が比較的高く、地域別では「富岡」(66.0%)「甘楽」(65.3%)「藤岡」(64.7%)の値が高く、「沼田」(60.2%)の値は比較的高い。「③どこに避難すればよいか知らない」は「10代」(43.2%)「20代」(40.3%)、職業別では「学生」(45.6%)の値が高い。

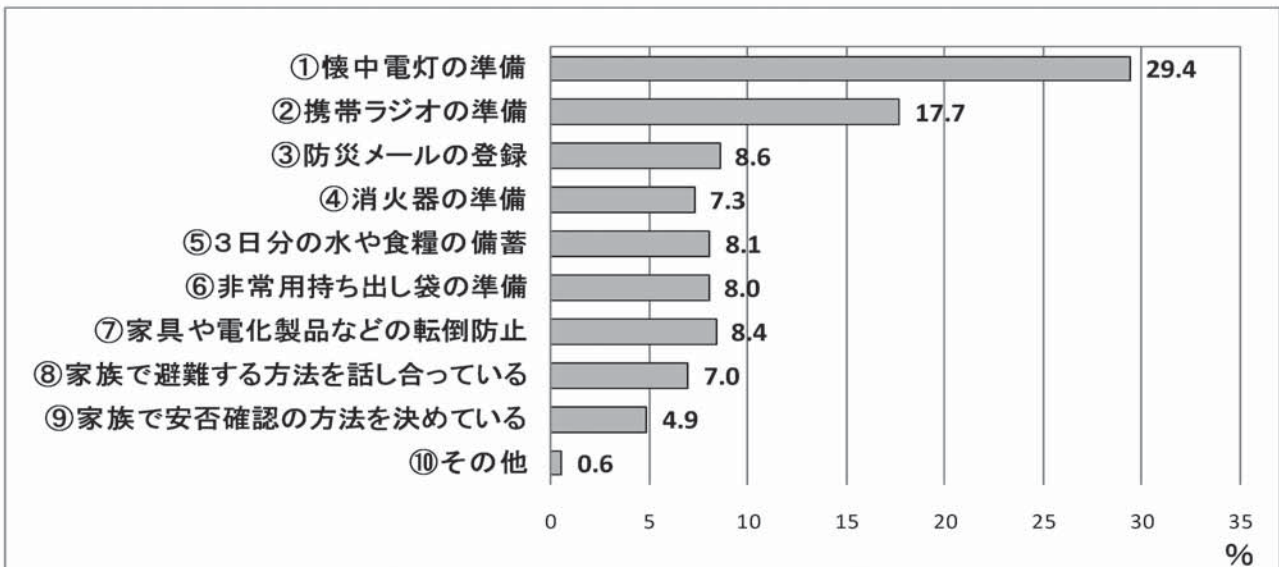


5. 災害に対する備えで行っていることは何ですか。

【複数選択】

■傾向

「①懐中電灯の準備」(29.4%)の値が最も高く、これに「②携帯ラジオの準備」(17.7%)が続く。



6. あなたが住んでいる地域での防災訓練に参加していますか。

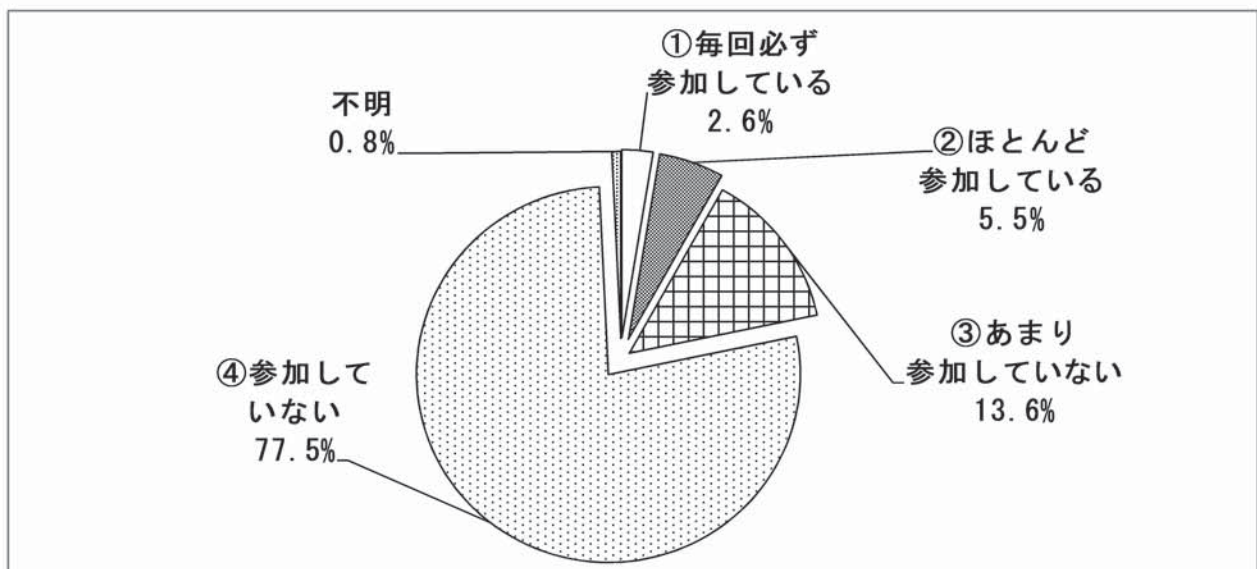
【1つ選択】

■傾向

「④参加していない」(77.5%)の値が最も高く、これに「③あまり参加していない」(13.6%)が続く。「④参加していない」「③あまり参加していない」を合わせると91.1%となる。

特徴点として、「①毎回必ず参加している」「②ほとんど参加している」を合わせると「70歳以上」(23.7%)の値が比較的高い。

「④参加していない」は「30代」(83.1%)が比較的高い。





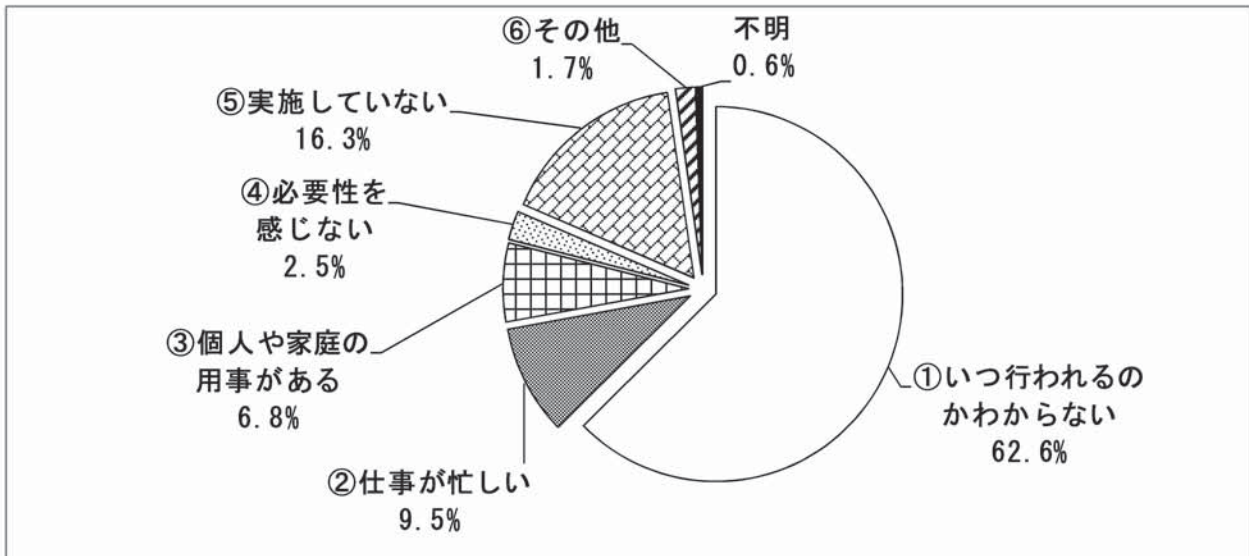
7. その一番の理由は何ですか。

【問6で「③あまり参加していない」「④参加していない」を選択した方のみ／1つ選択】

■傾向（問6で「③」「④」を選択した方10,707名の回答より）

「①いつ行われるかわからない」（62.6%）の値が最も高く、これに「⑤実施していない」（16.3%）が続く。

「①いつ行われるかわからない」は「20代」（71.0%）の値が比較的高い。



8. 自宅の寝室・階段に火災警報器などを設置することが義務化されましたが、あなたのご自宅には設置していますか。 【1つ選択】

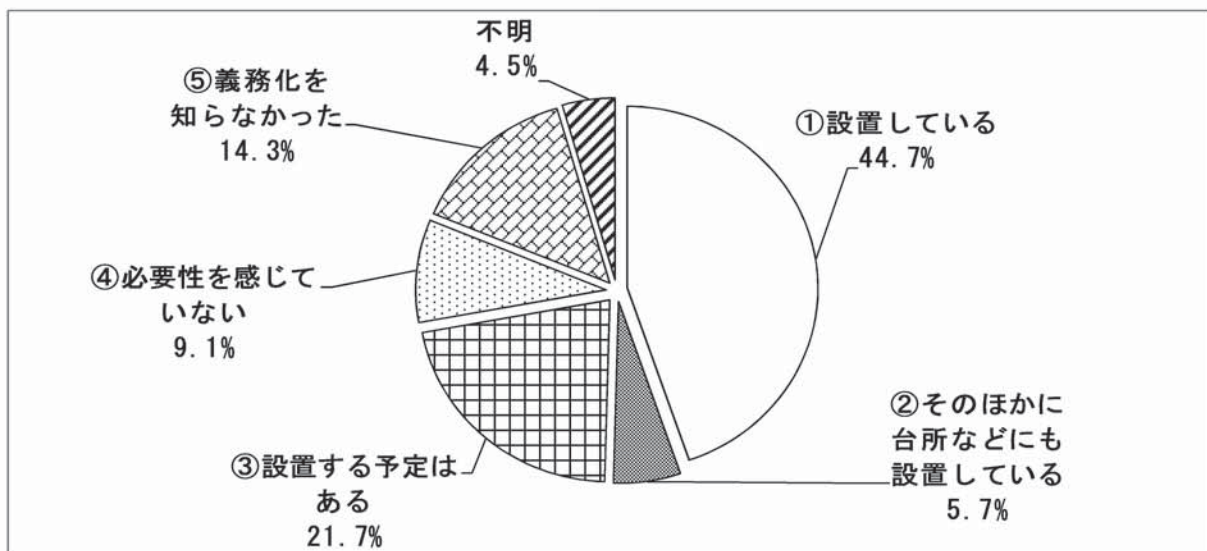
■傾向

「①設置している」（44.7%）の値が最も高く、これに「③設置する予定はある」（21.7%）が続く。

「①設置している」「②そのほかに台所などにも設置している」（5.7%）を合わせると50.4%となる。

特徴点として、「①設置している」は「70歳以上」（49.9%）の値が比較的高い。

「⑤義務化を知らなかった」は「10代」（28.2%）「20代」（25.2%）の値が高く、職業別では「学生」（29.8%）の値が高い。



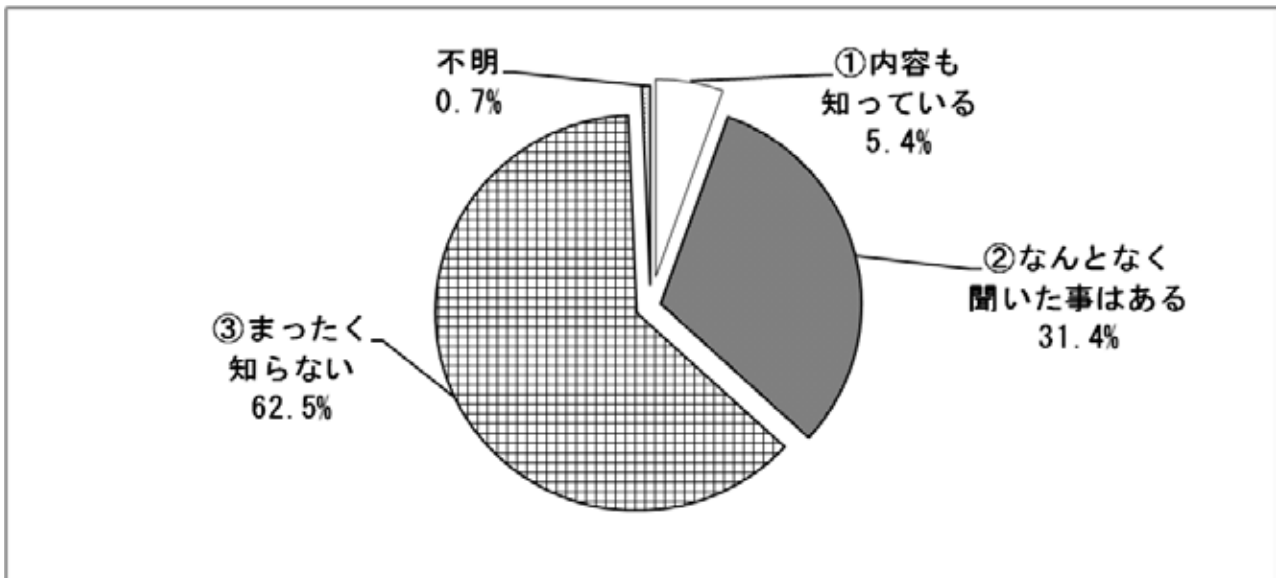
9. あなたが住んでいる市町村の地域防災計画を知っていますか。

【1つ選択】

傾向

「まったく知らない」(62.5%)の値が最も高く、これに「何となく聞いたことはある」(31.4%)が続く。

特徴点として、「まったく知らない」は年齢別では「10代」(78.8%)「20代」(77.6%)、職業別では「学生」(78.7%)の値が高い。地域別では「前橋」(65.1%)「高崎」(66.7%)「伊勢崎」(66.6%)「太田」(65.3%)「安中」(66.6%)と平野部で65%を超えている。



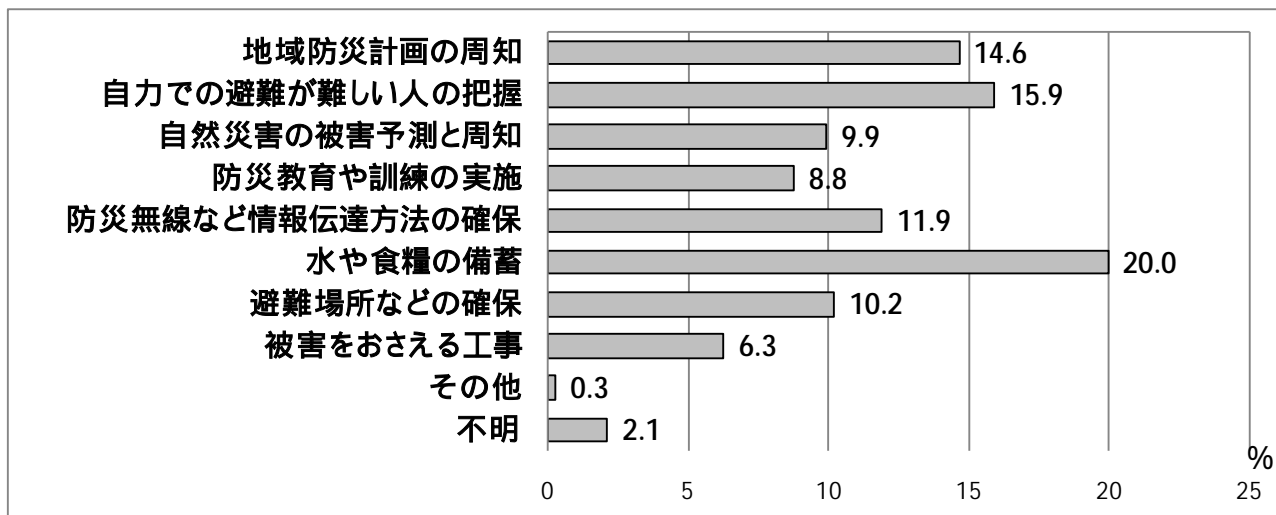
10. 災害に備えて行政がおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

傾向

「水や食糧の備蓄」(20.0%)の値が最も高く、これに「自力での避難が難しい人の把握」(15.9%)「地域防災計画の周知」(14.6%)の2項目が続く。

特徴点として、年代別では「地域防災計画の周知」は「70歳以上」(24.7%)の値が高い。職業別では、「自力での避難が難しい人の把握」は「企業・団体役員」(21.9%)の値が比較的高い。



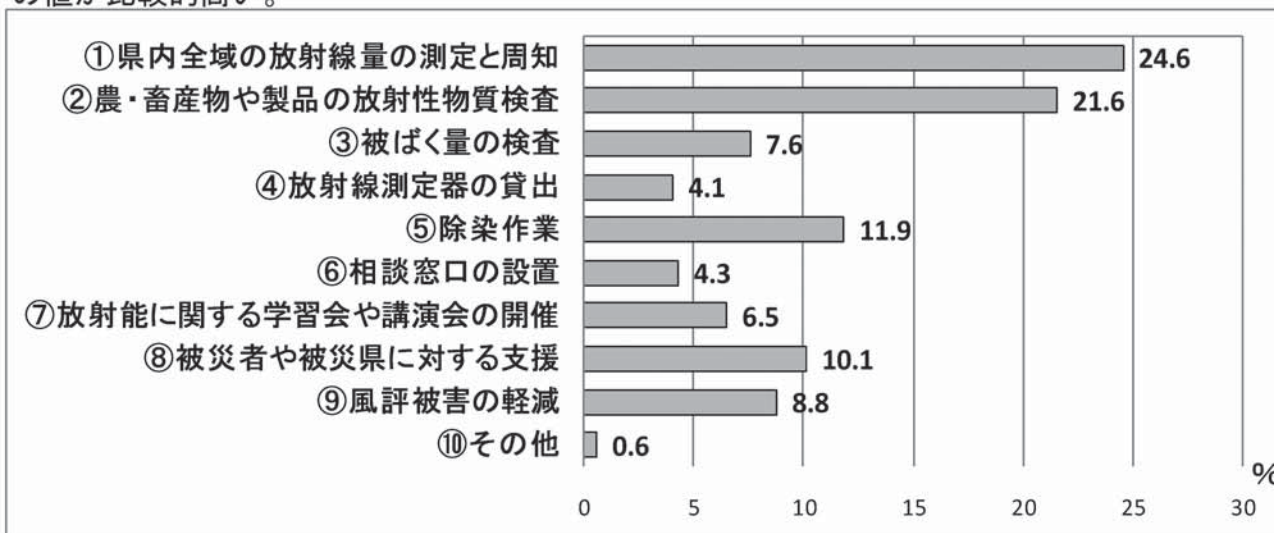
1 1. 放射能汚染に対して行政がおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

■傾向

「①県内全域の放射線量の測定と周知」(24.6%)の値が最も高く、これに「②農・畜産物や製品の放射性物質検査」(21.6%)が続く。

特徴点として、「①県内全域の放射線量の測定と周知」は「70歳以上」(31.1%)の値が、「⑤除染作業」は「10代」(20.4%)、「学生」(18.0%)の値が比較的高い。「⑧被災者や被災県に対する支援」は「10代」(16.3%)、「学生」(16.2%)、「企業・団体役員」(15.2%)の値が比較的高い。



《教育》

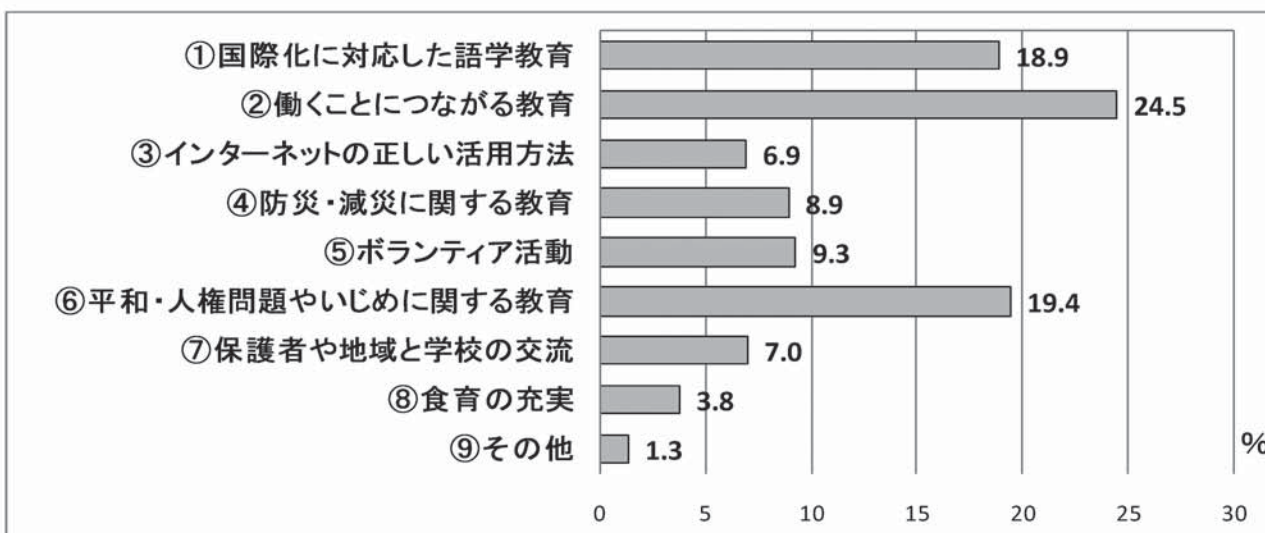
1 2. これから小・中学校教育で充実すべきことは何ですか。

【2つ選択】

■傾向

「②働くことにつながる教育」(24.5%)の値が最も高く、これに「⑥平和・人権問題やいじめに関する教育」(19.4%)「①国際化に対応した語学教育」(18.9%)の2項目が続く。

特徴点として、「①国際化に対応した語学教育」は、「企業・団体役員」(24.2%)の値が比較的高い。「③インターネットの正しい活用方法」は「学生」(12.4%)の値が比較的高い。





## 《心配事》

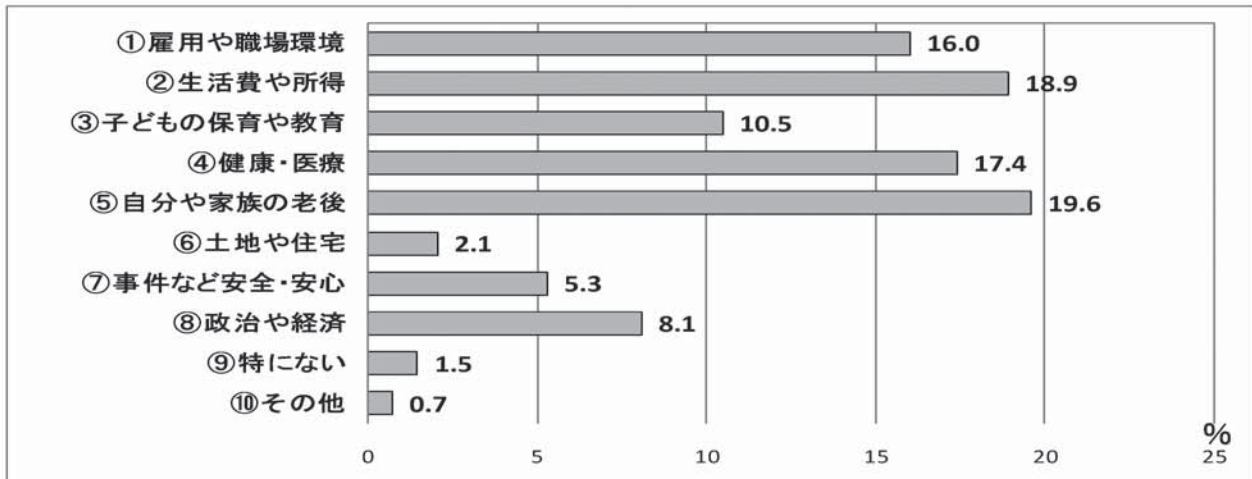
### 13. あなたの心配事・困り事・関心事は何ですか。

【2つ選択】

#### ■傾向

「⑤自分や家族の老後」(19.6%)「②生活費や所得」(18.9%)「④健康・医療」(17.4%)「①雇用や職場環境」(16.0%)の4項目の順に高い値を示している。

特徴点として、年代別では、「①雇用や職場環境」は「10代」(23.4%)、「②生活費や所得」は「20代」(25.0%)、「③子どもの保育や教育」は「30代」(17.5%)の値が比較的高く、「④健康・医療」は「70歳以上」(33.1%)「60代」(31.9%)の値が高い。ライフワークに沿った傾向が表れている。職業別では、「⑧政治や経済」は「企業・団体役員」(20.0%)の値が高い。



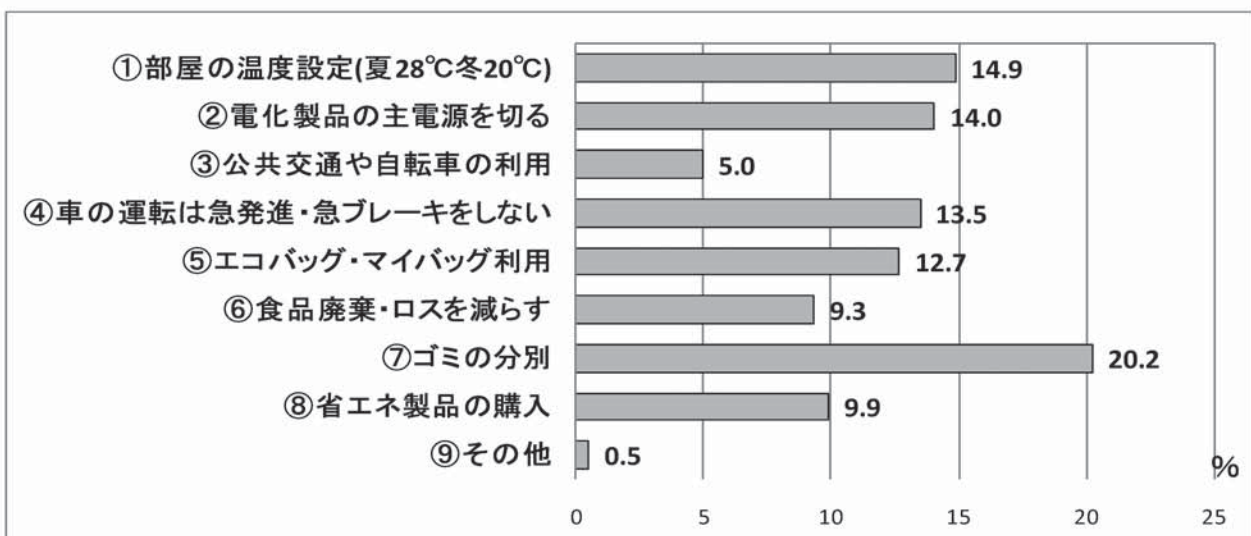
## 《環境》

### 14. あなたは環境にやさしい生活のためにどのようなことに取り組んでいますか。

【複数選択】

#### ■傾向

「⑦ゴミの分別」(20.2%)の値が最も高い値を示している。「①部屋の温度設定」(14.9%)「②電化製品の主電源を切る」(14.0%)「④車の運転は急発進・急ブレーキをしない」(13.5%)「⑤エコバッグ・マイバッグ利用」(12.7%)の項目が12~14%台で続く。



## 《農業》

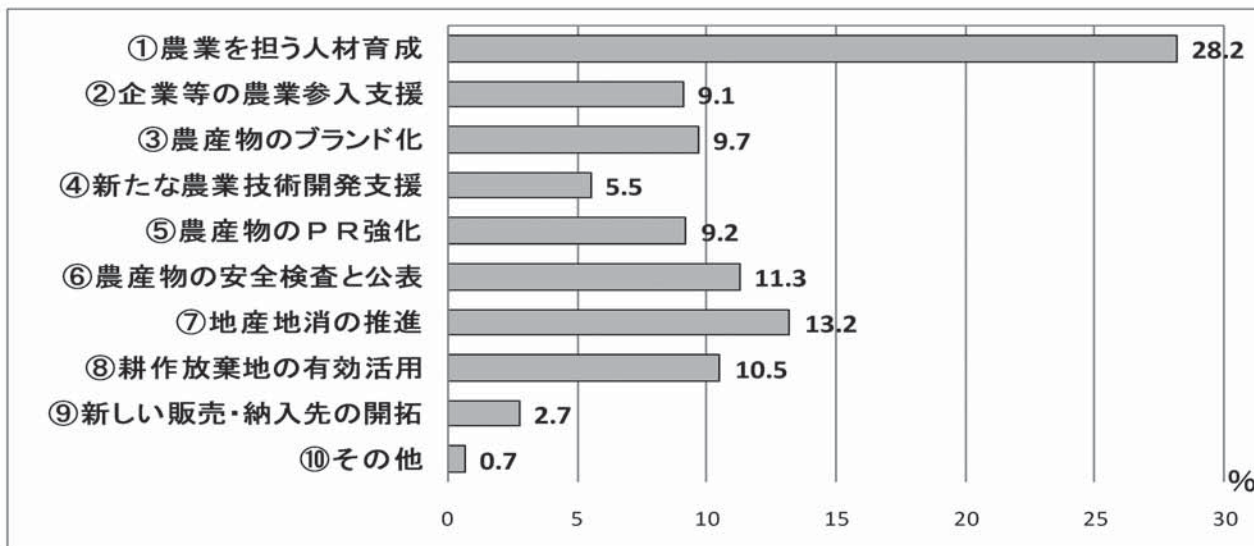
15. 群馬県の農業を守るために行政がおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

### ■傾向

「①農業を担う人材育成」(28.2%)の値が最も高い値を示している。

特徴点として、「⑧耕作放棄地の有効活用」は「企業・団体役員」(21.1%)が高く、「60代」(17.2%)「70歳以上」(16.4%)の値が比較的高い。



## 《働くこと》

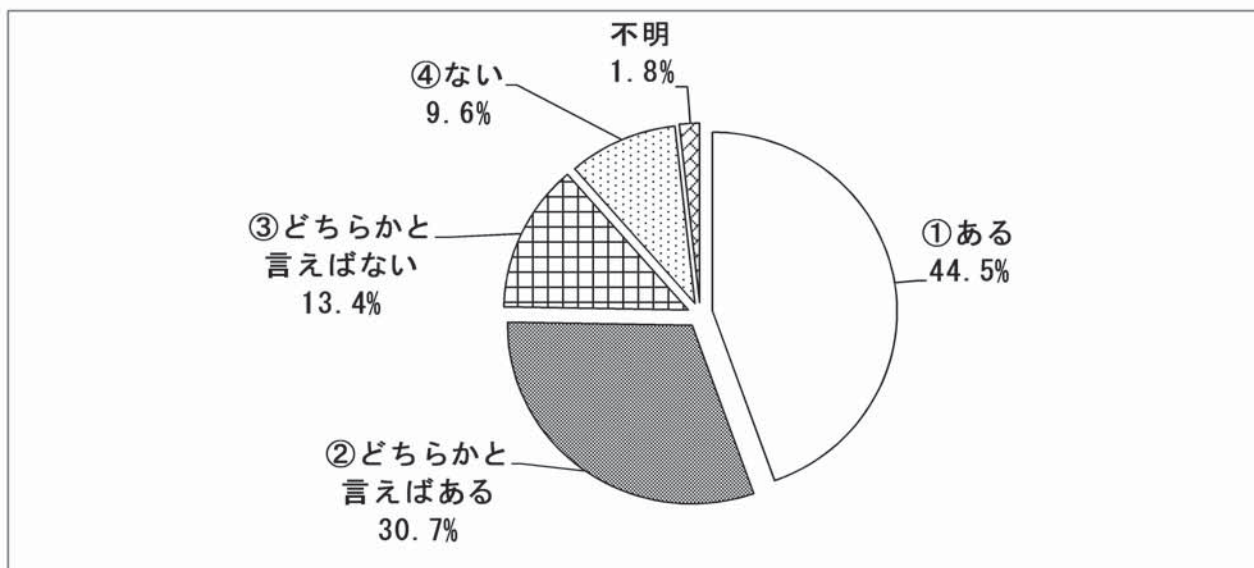
16. あなたは雇用・労働に対する不安はありますか。

【1つ選択】

### ■傾向

「①ある」(44.5%)の値が最も高く、これに「②どちらかと言えばある」(30.7%)が続く。①②を合わせた数値は75.2%となる。

①②合わせた値で比較すると、年代では、「40代」(83.5%)、「30代」(81.8%)、「10代」(81.1%)、の値が比較的高く、職業別では「学生」(87.9%)の値が高い。



17. 雇用・労働に対する不安はどんなことですか。

【問16で「①ある」「②どちらかと言えばある」を選択した方のみ／2つ選択】

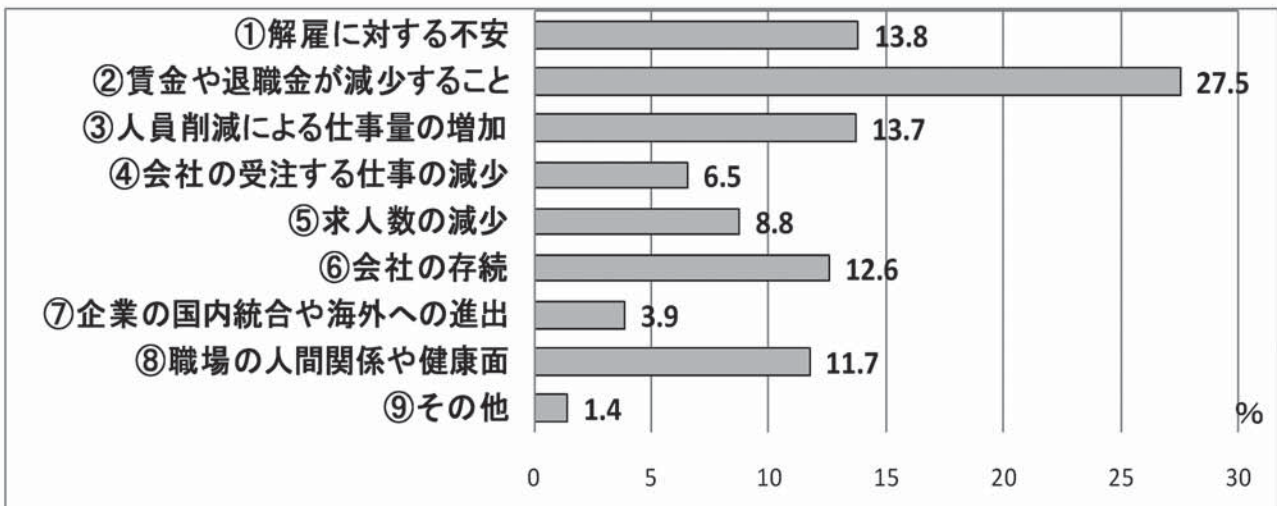
■傾向（問16で「①」「②」を選択した方8,841名の回答より）

「②賃金や退職金が減少すること」（27.5%）の値が最も高く、これに「①解雇に対する不安」（13.8%）、「③人員削減による仕事量の増加」（13.7%）が続く。

特徴点として、年代別では、「⑤求人数の減少」は「10代」（34.4%）の値が高い。

職業別では、「③人員削減による仕事量の増加」は「公務員」（25.9%）が高く、「④会社の受注する仕事の減少」は「企業・団体役員」（23.2%）「自営業」（19.6%）の値が高い。

「⑤求人数の減少」は「学生」（40.9%）「専業主婦」（20.5%）の値が高く、「⑥会社の存続」は「企業・団体役員」（26.1%）「自営業」（24.7%）の値が高い。

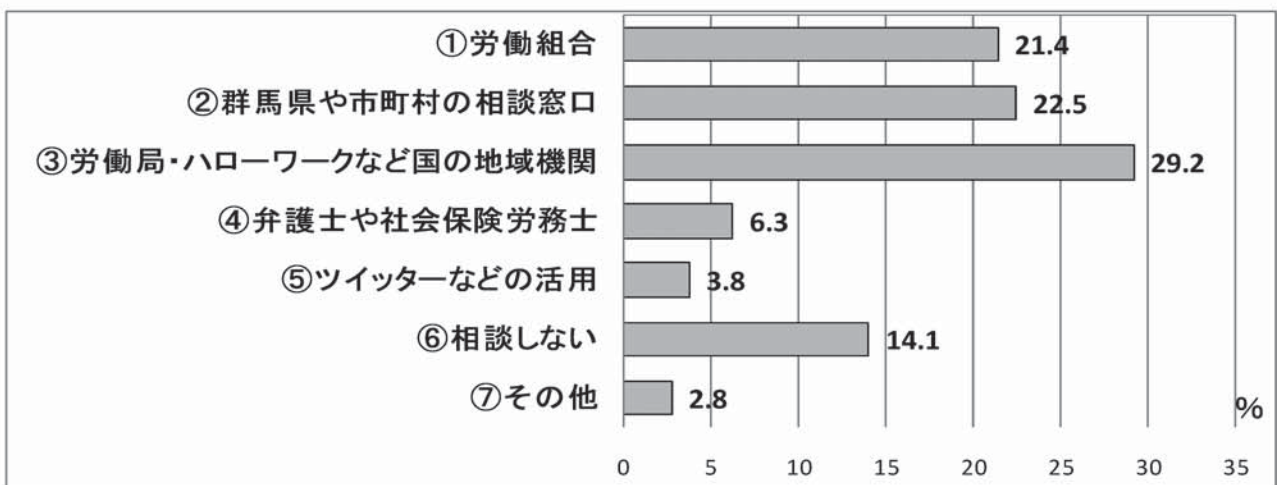


18. 雇用・労働問題や働くことで困ったとき、家族や友人以外で相談するとしたらどこに相談しますか。 【2つ選択】

■傾向

「③労働局・ハローワークなど国の地域機関」（29.2%）の値が最も高く、これに「②群馬県や市町村の相談窓口」（22.5%）「①労働組合」（21.4%）の2項目が続く。

特徴点として、職業別では、「①労働組合」は「公務員」（29.1%）「会社員」（27.6%）、「②群馬県や市町村の相談窓口」は「無職」（28.3%）の値が比較的高い。「④弁護士や社会保険労務士」は「企業・団体役員」（22.4%）の値が高い。「⑤ツイッターなどの活用」は「学生」（12.2%）の値が比較的高い。





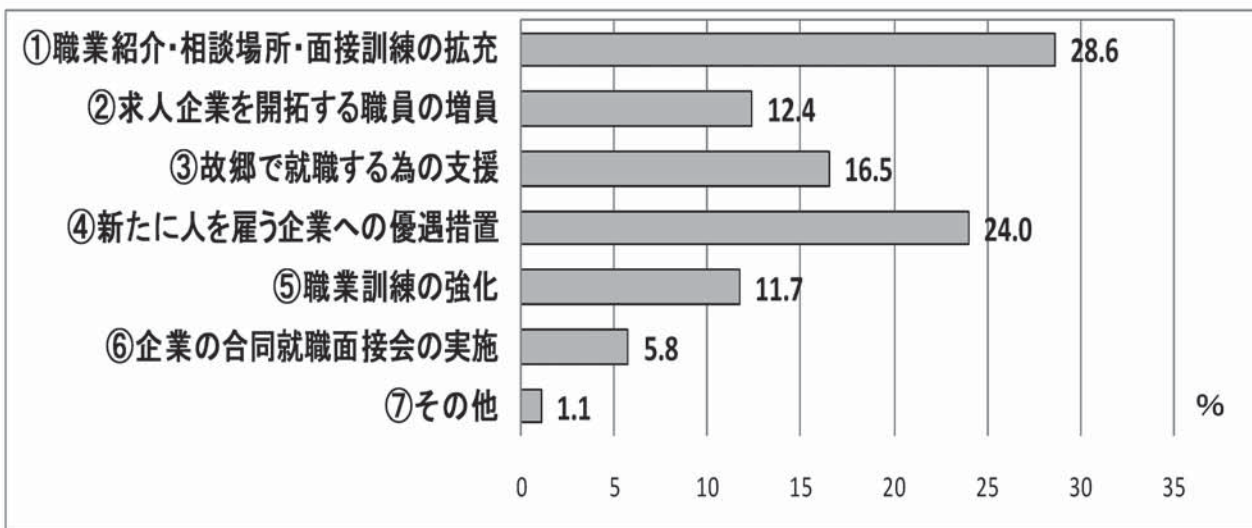
19. 求職者支援として行政がおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

■傾向

「①職業紹介・相談場所・面接訓練の拡充」(28.6%)の値が最も高く、これに「④新たに人を雇う企業への優遇措置」(24.0%)が続く。

特徴点として、「③故郷で就職する為の支援」は「企業・団体役員」(22.5%)の値が、「④新たに人を雇う企業への優遇措置」は「企業・団体役員」(30.8%)の値が比較的高い。



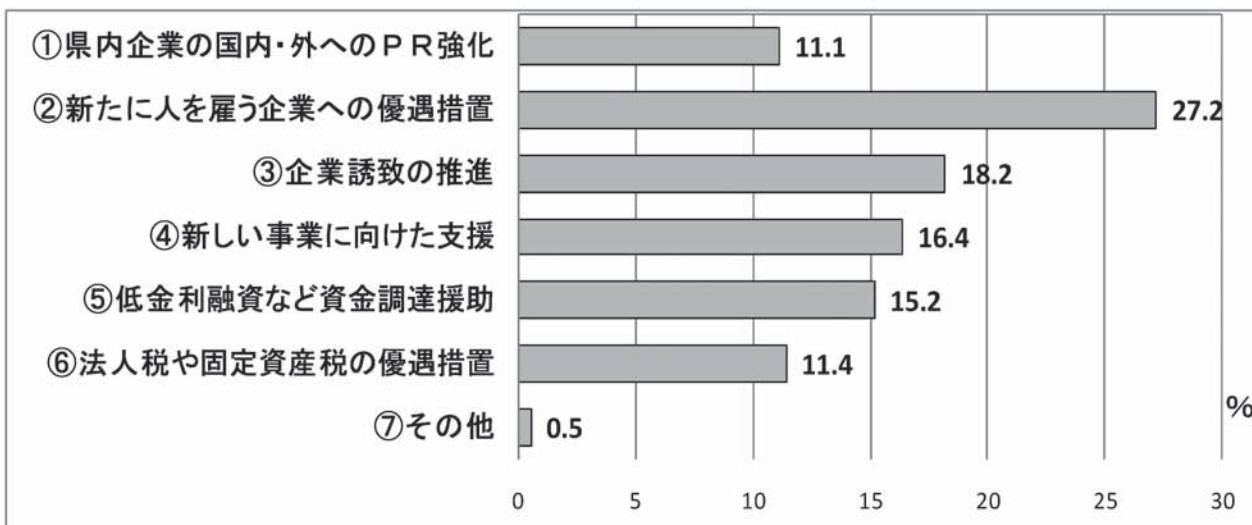
20. 雇用環境が厳しい中、企業に対して行政がおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

■傾向

「②新たに人を雇う企業への優遇措置」(27.2%)の値が最も高い値を示している。

特徴点として、「②新たに人を雇う企業への優遇措置」は「10代」(32.9%)、「⑤低金利融資など資金調達援助」は「企業・団体役員」(21.4%)が比較的高い。



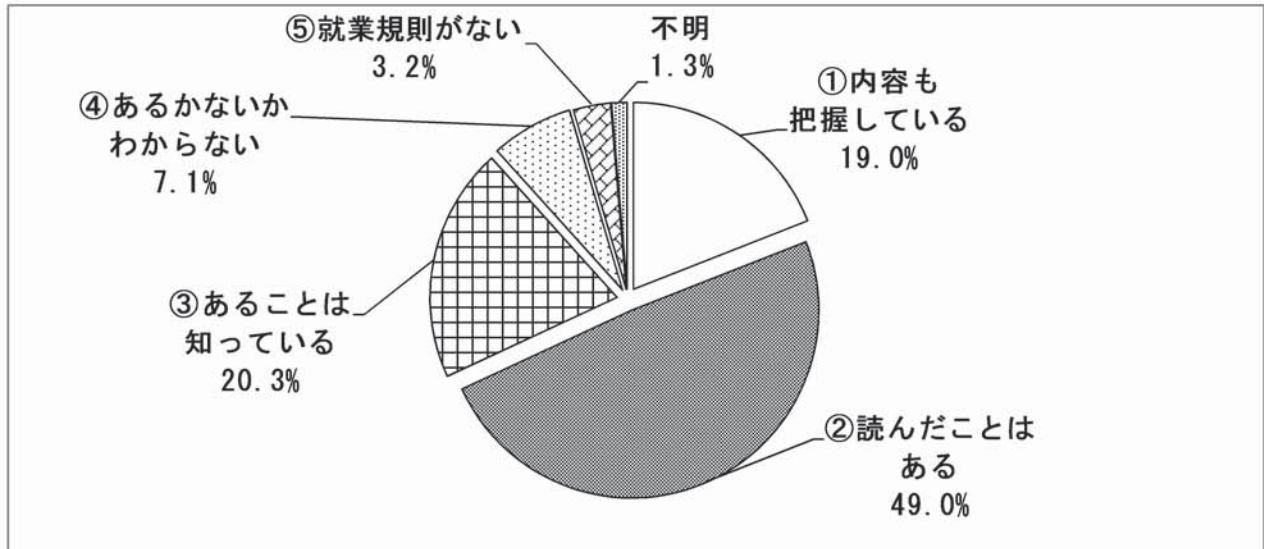
21. あなたはご自身の会社の就業規則を読んだことがありますか。

【会社員・公務員・企業団体役員・自営業の方のみ／1つ選択】

■傾向（会社員・公務員・企業団体役員・自営業の方 7,539 名の回答より）

「②読んだことはある」（49.0%）の値が最も高い値を示している。

特徴点として、職業別では、「①内容も把握している」は「企業・団体役員」（54.6%）、  
「④あるかないかわからない」は「公務員」（17.3%）、「⑤就業規則がない」は「自営業」（36.1%）が高い。



22. あなたは60歳以降も働く場合どのような働き方を希望しますか。

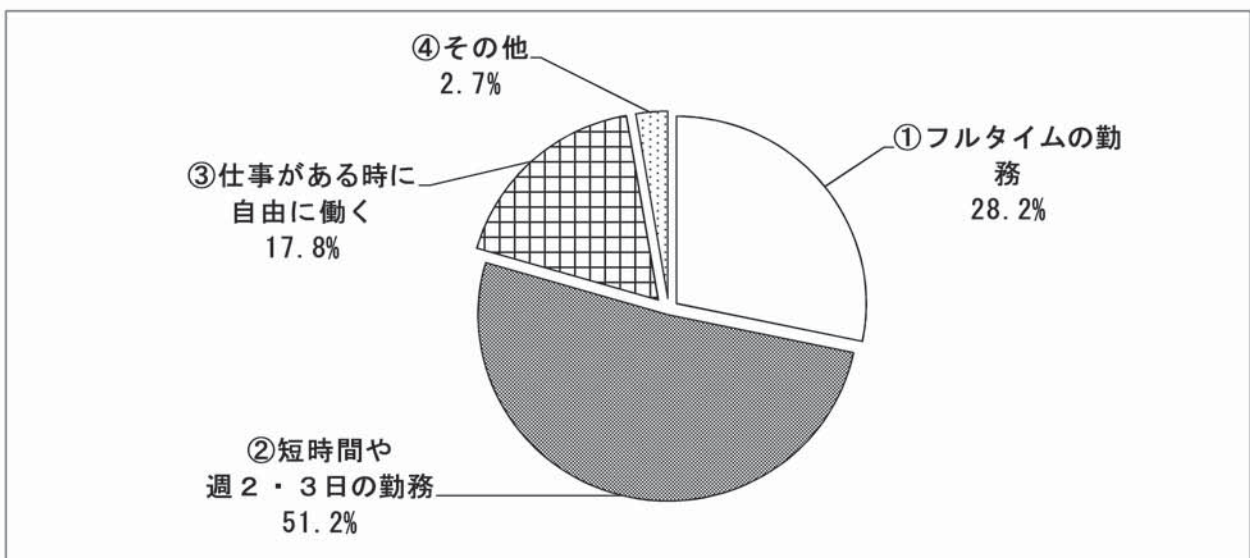
【1つ選択】

■傾向

「②短時間や週2・3日の勤務」（51.2%）の値が最も高く、これに「①フルタイムの勤務」（28.2%）が続く。

特徴点として、「①フルタイムの勤務」は「50代」（33.8%）、「会社員」（35.0%）の値が比較的高い。「②短時間や週2・3日の勤務」は「公務員」（63.1%）の値が高い。

「③仕事がある時に自由に働く」は「10代」（34.4%）「70歳以上」（28.8%）の値が高い。



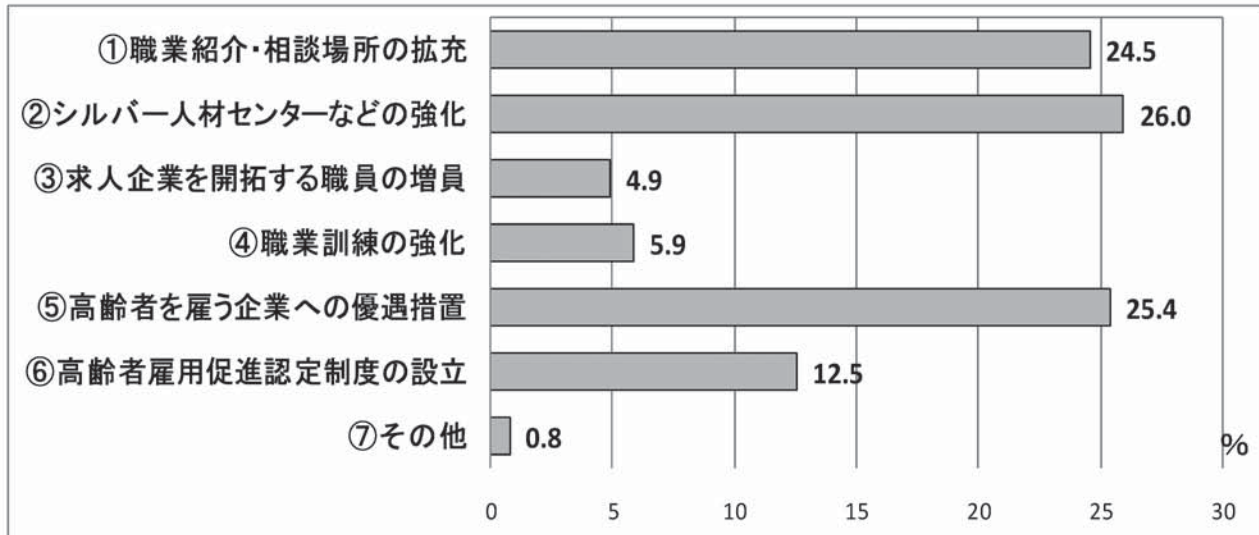
23. 高齢者が安心して働く機会の拡充に向けて行政でおこなうべき施策は何ですか。

【2つ選択】

■傾向

「②シルバー人材センターなどの強化」(26.0%)「⑤高齢者を雇う企業への優遇措置」(25.4%)「①職業紹介・相談場所の拡充」(24.5%)の3項目が高い値を示す。

特徴点として、「⑤高齢者を雇う企業への優遇措置」は「企業・団体役員」(33.5%)の値が比較的高い。



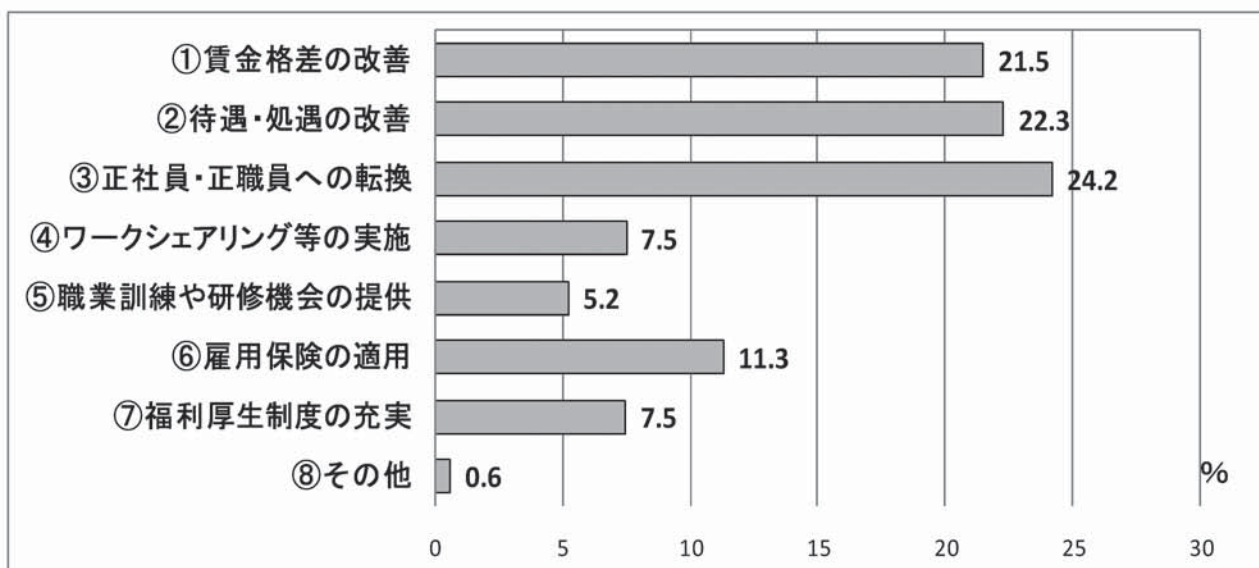
24. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員、臨時職員などに対して、企業などではどのような施策が必要だと思いますか。

【2つ選択】

■傾向

「③正社員・正職員への転換」(24.2%)「②待遇・処遇の改善」(22.3%)「①賃金格差の改善」(21.5%)の3項目が高い値を示す。

特徴点として、「④ワークシェアリング等の実施」は「10代」(14.0%)が比較的高く、「企業・団体役員」(19.1%)の値が高い。





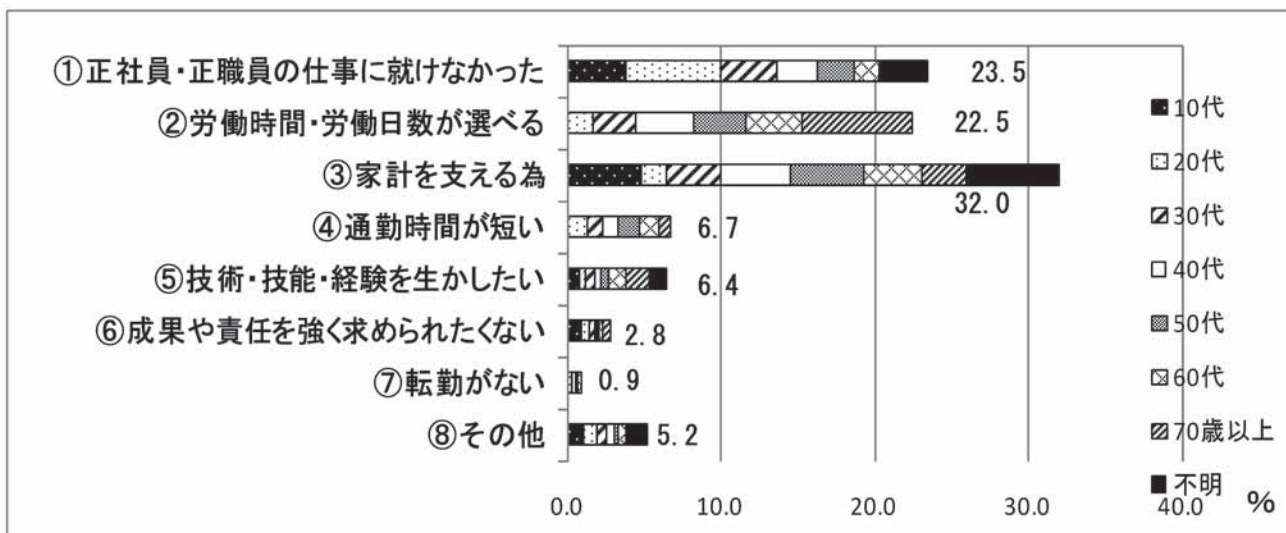
25. 現在の働き方を選んだ理由は何ですか。

【パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員の方のみ／1つ選択】

■傾向（パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員の方 2,226 名の回答より）

「③家計を支えるため」(32.0%)の値が最も高く、これに「①正社員・正職員の仕事に就けなかった」(23.5%)、「②労働時間・労働日数が選べる」(22.5%)の2項目が続く。

特徴点として、年代別では「①正社員・正職員の仕事に就けなかった」は20代(46.8%)、「②労働時間・労働日数が選べる」「⑤技術・技能・経験を生かしたい」は70歳以上(50.0%、18.2%)の値が高い。



26. 正社員・正職員になりたいと思いますか。

【パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員の方のみ／2つ選択】

■傾向（パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員の方 2,226 名の回答より）

「①なりたい」(28.6%)の値が最も高く、これに「③どちらとも言えない」(27.3%)「②どちらかと言えばなりたくない」(21.8%)が続く。

特徴点として、年代別では「①なりたい」は「10代」(70.0%)、「20代」(48.6%)、「30代」(40.3%)の値が、「⑤なりたくない」は「60代」(34.4%)、「70歳以上」(45.5%)の値が高い。

